

クイズ研究同好会

現会長 熊崎 真仁
前会長 飯村 言葉
顧問 吉田 先生

一つ一つの問題に答えていく。その問題を、確実にわかる所で、0.1秒でも早く押す。それを毎日ひたすら繰り返していく。

僕達は三階多目的教室、通称「さんたも」で日々クイズに勤しんでいる。クイズと言ってはいるが、各々が自分で興味の有ることを調べたり、互いに知識を共有したりすることもある。たまには、二つある黒板の一つを使って、授業をする人がいることもある。このようにとても自由な部活だが、やはり主な活動は早押しクイズだ。仲間とともに、どこで押すか、相手が押すタイミングはいつなのか、その駆け引きを楽しむ。どんなに答えがわかっていても、ポタンを押し解答権を得られなければ意味がない。そのような厳しさも持ち合わせているクイズだ。

人は誰でも欲を持っている。クイズとは、その欲の中の「知識欲」を満たしてくれるものだ。私たちを魅惑するクイズ。それに真剣に取り組み、そうすることで、さらに知的好奇心を刺激し、今まで見え来なかつた世界が見えてくる。この楽しみを教えてくれた先輩方へ、今までの感謝とこれからの活躍を祈っている。

「なぜ山に登るのか。」

「そこに山があるからだ。」

